

法律学(教職)

科目ナンバリング ESS-207
選択 2単位

五十嵐 卓司

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、教職課程履修者の「教科に関する専門科目」の1つである。授業では、中学校社会科の公民分野及び高等学校政治経済・現代社会のなかで、取り扱われている法に関わる事柄についての学習を通じ、教科教育に必要な法律に関する知識の習得を目指す。

2. 授業の到達目標

中学校社会科の公民分野や高等学校政治・経済、現代社会の授業ををするために必要な見方・考え方を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加状況と授業内レポート(50%)等、授業内試験の成績(50%)を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

中学校社会科教科書(公民的分野)

高等学校公民科教科書(現代社会)

(※詳細は、授業時に説明する。)

5. 準備学修の内容

- 1) 法律の働きとその重要性を理解すること
- 2) 知識の習得はもちろん、社会科の授業を作るための思考力・判断力・表現力を修得すること。

6. その他履修上の注意事項

- 1) 教職科目の専門科目なので欠席しないことはもちろんのこと、積極的な授業参加を求める。
- 2) 第1回オリエンテーションには、必ず出席すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 法とは何か、人権の発展の歴史
- 【第3回】 日本と憲法の歩み(明治憲法と日本国憲法の3つの原理)
- 【第4回】 日本国憲法の誕生とあゆみ
- 【第5回】 様々な政治体制と民主主義
- 【第6回】 日本国憲法と平和主義の移り変わり
- 【第7回】 イラク復興支援特別措置法と自衛隊
- 【第8回】 イラク戦争とアメリカ兵の現実
- 【第9回】 イラク復興支援特別措置法と憲法9条
- 【第10回】 湾岸戦争後の安全保障環境の変化
- 【第11回】 日本の平和主義と安全保障関連法
- 【第12回】 共謀罪・テロ等準備罪(改正組織的犯罪処罰法)と基本的人権
- 【第13回】 共謀罪・テロ等準備罪(改正組織的犯罪処罰法)の成立とその賛否
- 【第14回】 公民分野の授業を考える 社会科における政治的中立について
- 【第15回】 まとめ(授業内テスト)